

日本農業気象学会では、2023年度より採択された科学研究費助成事業「研究成果公開促進費（国際情報発信強化（23HP2004）「Journal of Agricultural Meteorology 誌の質的強化と更なる国際発信強化、持続的な出版のための取組）」の交付を受けて Journal of Agricultural Meteorology（JAM）誌より依頼の対象となる論文の掲載料を支援します。下記3件につきまして、皆さまの申請・提案をお待ちしています。

Journal of Agricultural Meteorology 誌編集委員長 高木健太郎

1. 若手会員による投稿論文募集

- ・以下に該当する学会員の投稿を依頼します。論文が採択された際には APC（論文掲載料）を全ての投稿種（Full paper, Short paper, Review, Research note）3万円とします。超過ページ料は著者負担となりますが、カラーページ印刷料は学会が負担します。81巻（2025年）2号に掲載される論文までを当面の対象とします。論文が採択された際に、希望の有無・該当非該当を確認いたします。論文謝辞に公開促進費による補助を受けた旨の記載をお願いすることになります。

対象：筆頭著者あるいは責任著者が学位未取得者か学位取得後8年未満である学会員の論文

*（上記に該当する場合に限り）既に投稿募集を締め切っている、2024ISAM 早期査読論文も対象となります。

2. 2025年以降掲載希望の Special issue（Special collection）の提案募集

- ・2025年(JAM vol 81)～2027年(JAM vol 83)に掲載を希望する、複数論文による Special issue（Special collection）の提案を募集します。期間中1～2件の追加の採択を予定しています。
- ・1つの特集で1号発行するものを「Special issue」、複数号に分けて通常掲載論文と同号で発行するものを「Special collection」としています。
- ・日本農業気象学会での活動に基づいており、1つのテーマに沿った複数論文による特集を想定しています。論文種（やその構成）は問いません。
- ・各論文の審査は通常論文と同様のプロセスで行いますが、審査ハンドリングのために、複数名特別編集委員として編集に参画していただきます。
- ・採択された提案には、5報までを目途に**掲載料を上限3万円**とします。
- ・提案者は学会員に限定します。
- ・下記事項について記載した提案を「jam[at]agrmet.jp」宛てにメールでお知らせください。必要情報はすべて仮案（あるいは一部未定）で構いません。また提案の段階で著者と編

集委員の部分的重複も認めます。採択後に編集理事と編集体制を検討します。

a. (仮) 特集テーマ, b. 主旨, c. 責任者氏名・連絡先 e-mail address, d. 編集体制案 (特別編集委員の候補), e. 候補論文仮タイトルと責任著者名 (+ 会員・非会員の情報) 案, f. 特集内での一般公募論文の有無, g. 掲載希望年月と掲載までのおおよそのスケジュール (投稿年月) 案

- ・ 期限を設けず提案を募集します。

3. 2025 年以降掲載希望の review 論文提案の募集

- ・ 2025 年(JAM vol 81)~2027 年(JAM vol 83) に掲載を希望する review 等論文の提案を募集します。期間中 5 件以上の採択を予定しています。

- ・ 提案者は学会員に限定します。

- ・ 日本農業気象学会の活動あるいは JAM 誌の掲載論文の認知度向上への貢献が期待できるレビュー論文の提案を想定していますが、論文種については申請者の提案を踏まえ相談可能です。

- ・ 採択された提案を受けて掲載された論文の掲載料を上限 3 万円とします。

- ・ 下記事項を含めた提案を「jam[at] agrmet.jp」宛てにメールでお知らせください。

a. (仮) タイトル, b. 主旨, c. 論文種, d. 責任者氏名・連絡先 e-mail address, e. 投稿予定年月

- ・ 期限を設けず提案を募集いたします。